

BALLET NEWS From KANSAI

いま関西のバレエがこんなにも面白い！
関西在住舞踊ジャーナリストが
個性的なステージをピックアップ！



Photo:谷岡秀昌&本岡聖吾

世界中のバレエ団やダンスカンパニーで、日本人が活躍することが珍しくなくなった最近。そんなプロダンサーへの登竜門として代表的なのが、スイスで行われるローザンヌ国際コンクールと、このユース・アメリカ・グランプリ——YAGPだ。2000年に始まったこのコンクール、才能ある若いダンサーに世界の優れたバレエ学校で教育を受ける機会を提供してきており、これまでに世界中で多くのスターが育っている。日本人だけでも30人以上がここからプロダンサーとして巣立っていると、言われ、2002年NY決選で銀賞、マイアミ・シティ・バレエで活躍後、現在K・BALLETTのプリンシパルを務める清水健太などが思い浮かぶところだ。

今回、開催されたのは、2009年4月17日から23日(21日まで)NY決選、22・23日はYAGP10周年ガラ公演)に行われるNY決選への出場者を選ぶ日本予選。2009年は記念すべき10回目の大会でもある。予選といっても、順位も発表されるし、この予選だけでもスカラシップのチャンスもあるというシステム。

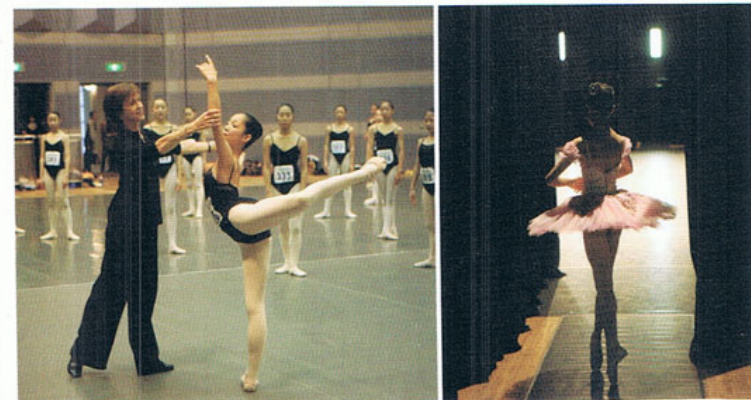
英国ロイヤル・バレエ・スクール校長ゲイリーン・ストック、シユツト・タルト・バレエ ジョン・クラッコ・スクール校長タテウス・マタチ、ABTジャクリン・ケネディ・オナシス・スクール校長フランコ・デ・ヴィータなど世界の主要バレエ団付属スクールの校長や教師たちが来日、舞台上での個々のヴァリエーション審査だけでなく、スカラシッ

プ希望者へのレッスン審査、それにワークショップも期間中毎日行い、上位に入らなかった参加者に対しても今後の上達につないでいくための配慮がなされている。

そして、何よりもこのコンクール、もっとも印象深いのは期間中ずっと流れる厳しくもあたたかい雰囲気。審査員たちは、参加者たちを「自らにバレエ学校で教育すれば、プロとして華ひらくかどうか?」「使い物になるか?」と、持って生まれた条件を含めてとてもシビアな視線を注いでいる。それは、とても厳しい見極める視線のだが、一方で、「教える」ことのプロらしく、参加者のがんばりに対する眼は愛弟子を見つめるやさしさにあふれているのだ。舞台上行われたレッスン形式のスカラシップ審査を観たラストグループは男子、レッスンは終わった後、ヒルエットを回って見た少年がいた。7周の良い回転に先生が言葉を掛けると、周りの少年達がみんな回り出す——終了時刻が過ぎて、楽しそうにつきあう先生。しばらくすると、客席で審査していた他の男の先生たちも集まってきて……。その後は、一人ずつ先生と握手をして着替えに向かっていた。

表彰式もとてもあたたかい。最終日(日本予選の)決選まで残らなかった参加者たちも、ワークショップを受けて会場にいる。その全員が舞台に並ぶ。スカラシップは、それを出した世界のバレエ学校の先生

Photo:谷岡秀昌&本岡聖吾



がそれぞれ自ら発表。予選ということもあるのだから、サマースクールなど短期のスカラシップが多かったが、1年というもの、それになんとシニア部門(15歳・19歳)では、ドレステン歌劇場バレエからのプロとしての契約のオファーまで飛び出した。

終了後、舞台や楽屋では審査員の先生と選ばれた参加者がカタコトで言葉を交わす場面があちらこちらで。楽屋口で観たゲイリーン・ストック校長に「See You in London!」と笑顔を向けられて、涙ぐみそうになっている少女の姿は私の脳裏にずっと焼き付いたままになりそうだった。

今回PICK UPしたステージはコレ!

Youth America Grand Prix 2009 Japan Semi-Finals

世界にはばたくダンサーのタマゴたちの登竜門、ユース・アメリカ・グランプリ(YAGP)日本予選が、昨年に引き続き、兵庫県尼崎市のアルカイックホール、オクトホールを会場に盛大に繰り広げられた。その模様をレポートしよう!

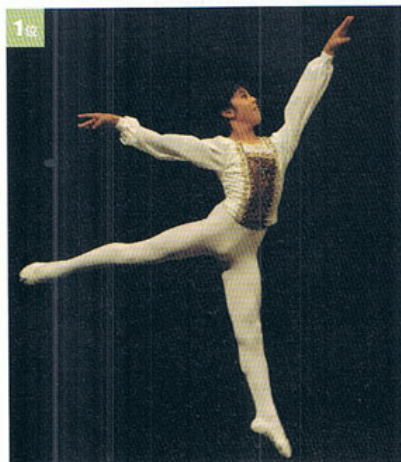
text Atsuko Suzuna 蘇あつこ

関西在住舞踊ジャーナリスト、「朝日新聞」「SWAN MAGAZINE」(平凡社)、「バレリーナへの道」「大人からのバレエ」(文芸社)等に執筆。著書「ココロとカラダに効くバレエ」(西日本出版社)。2008年度文化庁芸術祭(関西・舞踊)審査委員。

DDD magazine (Japan)

YAGP 09 Japan ■ Feb 2009 ■ Pg 2 of 2

■ ジュニア部門(12-14歳)



男子第1位 藤島光太
〈サタネラのヴァリエーション〉

■ ジュニア部門(12-14歳)



女子第1位 乙戸沙織
〈ダイアナのヴァリエーション〉

■ プリコンペティティブ部門(9-11歳)



第1位 根岸葉矢
〈フロリナ女王のヴァリエーション〉

■ 特別賞



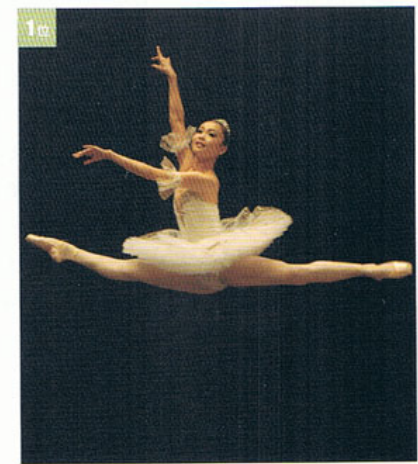
芸術賞(Sponsored by Dance Europe Magazine)
佐川裕香 (ライモンダのヴァリエーション)

■ シニア部門(15-19歳)



男子第1位 高田樹
〈バジルのヴァリエーション〉

■ シニア部門(15-19歳)



女子第1位 小笠原由紀
〈ガムザッティのヴァリエーション〉